

主催:(公社)広島県理学療法士会  
共催:(一社)広島県作業療法士会  
(一社)広島県言語聴覚士会

# 第10回

## 訪問リハビリテーション実務者研修会

**日時**：2019年11月 9日(土) 9:00-16:30

10日(日) 9:30-15:00

※1日参加も可能です。ただし、参加費は2日参加と同額。

**場所**：9日(土) 広島市西区民文化センター 大会議室

10日(日) RCC文化センター 703会議室

※1日目と2日目の会場が異なりますのでご注意ください。

**参加費**：6,000円

※「実務者研修会」修了者に発行される「受講証」が「管理者養成研修会STEP1」の受講要件となります。

**申し込み**：~~10/20(日)まで~~

→延長 10/27(日)まで

右記QRコードまたは、下記URLからGoogleフォームを利用して申し込みください。

<https://forms.gle/AqQipmP7ENTr1RmB7>



お問い合わせは [houmonreha.hiro@gmail.com](mailto:houmonreha.hiro@gmail.com) 三上までお願いします。

11月9日（土）西区民文化センター

11月10日（日）RCC文化センター

9:00 受付

9:25 開会式

9:30 広島県保健医療計画から見る  
リハ職の役割  
～これまでと、これから～  
(望月マリ子先生)

12:30 昼休憩

13:30 訪問リハで生きるパラダイム  
シフトコミュニケーション®  
(ペ・ホス先生)

16:30 1日目終了（終了後懇親会）

9:30

訪問現場で考える  
摂食・嚥下障害のリスク  
(沖田啓子先生)

12:00 昼休憩

13:00 小児の  
訪問リハビリテーション  
(三宅孝史先生)

15:00 閉会式

# 研修会 講義内容詳細

## 広島県保健医療計画から見るリハ職の役割

～これまでと、これから～

望月 マリ子 先生（地域包括ケア推進センター）

- ① 訪問リハ財団と本研修会の意図について
- ② 広島県保健医療計画から見るリハ職の役割 ～これまでと、これから～
- ③ 訪問リハビリテーションの現状を知る
- ④ グループワーク（保健医療計画から見るリハ職のあり方）

## 訪問リハビリテーションで生きる

### パラダイムシフトコミュニケーション®

ペ・ホス 先生（アプロクリエイト代表）

- ① イントロダクション ～訪問リハスタッフと一緒に働いてみて感じたこと～
- ② 気づかぬうちに人の行動を左右している「パラダイム」  
～「理解すれば行動は変わる」は本当か？～
- ③ 利用者のやる気が続く「バイタリティサイクル」  
～手がかりを発見するカギは“いたずら”にあり～
- ④ 「意図」を探る ～その人のベクトルはどこに向いているのか？～
- ⑤ 訪問リハを卒業するか？それとも卒業しないか？  
～訪問リハが際限なく続くことの本質的な問題～

## 訪問現場で考える摂食・嚥下障害のリスク

沖田 啓子 先生（広島国際大学）

- ① 摂食・嚥下障害のメカニズム
- ② 在宅での摂食・嚥下障害の特徴
- ③ 在宅での摂食・嚥下障害のチェックポイント  
～摂食場面, 嚥下機能, 栄養面, 環境面～
- ④ 摂食・嚥下障害におけるKYT ～安全で安心なサービス提供のために～

## 小児の訪問リハビリテーション

三宅 孝史 先生（訪問看護ステーションあすか）

- ① 小児領域の訪問リハの現状
- ② 成人や高齢者の訪問リハとの違い
- ③ 小児の訪問リハに必要な視点、介入のポイント
- ④ 保護者や関連機関との連携や情報収集のコツ
- ⑤ 広島における小児訪問リハの地域課題と今後の展望